

高等学校 芸術（音楽）

解答についての注意点

- 1 解答用紙は、記述式解答用紙とマーク式解答用紙の2種類があります。
- 2 大問 **1** ~大問 **2** については、記述式解答用紙に、大問 **3** ~大問 **4** については、マーク式解答用紙に記入してください。
- 3 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 4 大問 **3** ~大問 **4** の解答は、選択肢のうちから、**問題で指示された解答番号**の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。
例えば、「解答番号は 」と表示のある問題に対して、「**3**」と解答する場合は、解答番号 の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 5 間違ってぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 6 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

1 これから放送されるア～エの音楽を聴いて、次の(1)～(2)の問いに答えよ。

(1) ア～エの楽曲名と作曲者名を記せ。なお、解答用紙に「」があるものについては、「」内に必要な事項を記入すること。

(2) エは14曲からなる組曲である。そのうち動物の標題をもった楽曲で使われている動物名を2つ記せ。ただし、(1)で答えたもの及びヒトは除く。

2 次の問いに答えよ。

次の楽譜は、ドヴォルジャーク作曲の「交響曲第9番ホ短調 作品95〈新世界から〉」第2楽章の一部である。次の①～④の条件に基づいて、解答用紙の五線譜にサクソフォン四重奏用の楽譜を作成せよ。

- ① ヴァイオリンⅠ（VI.Ⅰ）をソプラノサクソフォン（Soprano Sax.）のパートとして、ヴィオラ（Vle.）をアルトサクソフォン（Alto Sax.）のパートとして、チェロ（Vc.）をテナーサクソフォン（Tenor Sax.）のパートとして、コントラバス（Cb.）をバリトンサクソフォン（Baritone Sax.）のパートとすること。なお、ヴァイオリンⅡ（VI.Ⅱ）は参考楽譜として掲載している。
- ② ヴィオラのパートにおいて、重音になっている部分については、高い方の音をアルトサクソフォンのパートとすること。
- ③ 調性は変ホ長調に移調すること。
- ④ 作成する楽譜には調号・音符・休符・スラー・タイを書き、それ以外の音楽記号・音楽用語は書かないこと。

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典：ドヴォルジャーク交響曲第9番ホ短調 作品95（新世界から）
アントニーン・ドヴォルジャーク
株式会社 全音楽譜出版社
89ページ110小節目から113小節目まで（VI.Ⅰ～Cb.）

3 次の(1)～(10)の問いに答えよ。

(1) 世界の民謡の組み合わせとして適切でないものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- | | |
|--------------------------|---------|
| 1 「山の音楽家」 | ドイツ民謡 |
| 2 「シューメーカーズ・ダンス (糸まきまき)」 | デンマーク民謡 |
| 3 「トラジ」 | 朝鮮民謡 |
| 4 「故郷の空 (夕空晴れて)」 | スイス民謡 |
| 5 「線路の仕事」 | アメリカ民謡 |

(2) 次の作品のうち近松門左衛門の作品として、適切でないものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 「夏祭浪花鑑」
- 2 「傾城反魂香」
- 3 「曾根崎心中」
- 4 「博多小女郎浪枕」
- 5 「平家女護島」

(3) 次の説明について、適切でないものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 民謡のリズムは、拍節的なリズムの八木節様式と拍節的でないリズムの追分様式に大別することができる。
- 2 民俗芸能の「風流」とは、新年、婚礼のお祝い事の際に余興として行われる芸能のことである。
- 3 声楽・器楽にかかわらず音を揺らす唱法・奏法を「ユリ」という。
- 4 「音頭一同形式」とは、誰か一人が中心となり、その人の表現を受けて、その他大勢の人が表現する楽曲の構成方法である。
- 5 「延年」とは、寺院の法会のあとに行った宴や芸能の総称である。

(4) 箏の演奏法について適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- | | | |
|---|-----|-------------------------------|
| 1 | 押し手 | 弦を弾いたあと、ただちに左手で押さえて余韻を止める。 |
| 2 | 合せ爪 | 隣り合う2弦を中指で同時に弾く。 |
| 3 | 輪連 | 連続する3弦を向こうへ親指で順に弾く。 |
| 4 | 搔き爪 | 隣り合う2弦を同時に、人さし指と中指で順に搔いて弾く。 |
| 5 | 引き色 | 右手で弾いたあと、左手で柱の左の弦をつまんで右に引っ張る。 |

(5) 小澤征爾の歩みについて、適切な順に並べられているものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1
 - ・カラヤンに師事
 - ・ブザンソン国際指揮者コンクールで優勝
 - ・新日本フィルハーモニー交響楽団を山本直純と結成
 - ・歌劇「子どもと魔法」を収めたアルバムがグラミー賞受賞
 - ・ウィーン国立歌劇場音楽監督に就任
- 2
 - ・カラヤンに師事
 - ・サイトウ・キネン・フェスティバル松本がスタート
 - ・ボストン交響楽団で音楽監督に就任
 - ・歌劇「子どもと魔法」を収めたアルバムがグラミー賞受賞
 - ・文化勲章受章
- 3
 - ・ブザンソン国際指揮者コンクールで優勝
 - ・ウィーン国立歌劇場音楽監督に就任
 - ・サイトウ・キネン・フェスティバル松本がスタート
 - ・ボストン交響楽団で音楽監督に就任
 - ・歌劇「子どもと魔法」を収めたアルバムがグラミー賞受賞
- 4
 - ・ボストン交響楽団で音楽監督に就任
 - ・サイトウ・キネン・フェスティバル松本がスタート
 - ・新日本フィルハーモニー交響楽団を山本直純と結成
 - ・ウィーン国立歌劇場音楽監督に就任
 - ・文化勲章受章
- 5
 - ・ブザンソン国際指揮者コンクールで優勝
 - ・カラヤンに師事
 - ・新日本フィルハーモニー交響楽団を山本直純と結成
 - ・ボストン交響楽団で音楽監督に就任
 - ・文化勲章受章

(6) 作曲家とその生まれた国及び主要作品の組み合わせについて、適切なものを 1～5 から一つ選べ。

解答番号は

	作曲家	生まれた国	主要作品
1	パガニーニ	イタリア	ピアノ曲「舞踏への勧誘」
2	グノー	フランス	オペラ「エルナーニ」
3	ハイドン	ドイツ	交響曲 第100番「軍隊」
4	ブルックナー	オーストリア	交響曲 第4番「ロマンティック」
5	エルガー	ハンガリー	オペラ「青ひげ公の城」

(7) 次の説明について、適切なものを 1～5 から一つ選べ。解答番号は

- 1 へ短調の下属調の平行調は変ホ長調である。
- 2 同主調がハ長調のとき、その主調の属調の平行調はイ短調である。
- 3 変ホ長調の属調の平行調はト長調である。
- 4 下属調の同主調がト短調のとき、その主調の属調の同主調はイ短調である。
- 5 平行調がニ長調のとき、その主調の下属調の平行調はホ長調である。

(8) 次の民族楽器の説明のうち、適切なものを 1～5 から一つ選べ。解答番号は

- 1 ガドウルカ 旋律管とドローン伴奏管が独立しているバグパイプの一種。
- 2 プーンギ 主にボルネオ島で使われているリュート属の楽器。
- 3 アピート 楽器の左右に穴があり、3～4つの音を出すことができるホイッスル。
- 4 ガタム 長い木の枝の棹にひょうたんでできた共鳴体を紐で縛り付けた楽器。
- 5 グングルー 歯が残るロバの下顎の骨をそのまま楽器にしたもの。

(9) 團伊玖磨作曲の楽曲のうち、曲名と作詞者の組み合わせとして、適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

	曲名	作詞者
1	やぎさんゆうびん	山田耕筰
2	ひょうたん	北原白秋
3	ぞうさん	サトウハチロー
4	さより	谷川俊太郎
5	はる	萩原朔太郎

(10) 次の作曲家に関連する説明のうち、適切でないものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 シベリウス 1892年、交響詩「エン・サガ」を作曲。1897年には、32歳の若さで、政府より終身年金の贈与を受けた。
- 2 R.シュトラウス 1864年、ミュンヘン宮廷楽団のホルン奏者を父として生まれた。1919年には、ウィーン国立歌劇場の総監督に就いた。
- 3 ニールセン ペテルブルグ音楽院の卒業時に「交響曲 第1番」を発表した。1927年には、第1回ショパン国際ピアノコンクールに出場した。
- 4 シェーンベルク 1912年に、シュプレッヒシュティンメを用いた「月に憑かれたピエロ」を発表した。
- 5 ガーシュウィン ハンピッツァーにピアノを師事。1919年、兄のアイラ作詞による歌曲「スワニー」が大ヒットした。

4 「高等学校学習指導要領（平成30年3月告示）第2章 第7節 芸術」について、次の（1）～（2）の問いに答えよ。

（1）「高等学校学習指導要領（平成30年3月告示）第2章 第7節 芸術 第2款 各科目 第1音楽I」について、次のA～Dの問いに答えよ。

A 次に示す空欄（ア）、（イ）に当てはまる語句として、適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

第2款 各科目 第1 音楽I

1 目標

（ア）の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 曲想と音楽の構造や（イ）及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

- 1 ア 表現及び鑑賞
イ 音楽的な見方・考え方
- 2 ア 主体的・協働的に取り組む音楽
イ 背景などとの関わり
- 3 ア 表現及び鑑賞
イ 音楽を愛好する心情
- 4 ア 芸術
イ 音楽を形づくっている要素
- 5 ア 音楽
イ 文化的・歴史的背景などとの関わり

B 次に示す空欄（ア）、（イ）に当てはまる語句として、適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

第2款 各科目 第1 音楽I

2 内容

B 鑑賞

鑑賞に関する資質・能力を次のとおり育成する。

(I) 鑑賞

鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の(ア)から(ウ)までについて考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くこと。

(ア) (ア)

(イ) (イ)

(ウ) 音楽表現の共通性や固有性

- 1 ア 曲や演奏に対する評価とその根拠
イ 自分や社会にとっての音楽の意味や価値
- 2 ア 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり
イ 我が国や郷土の伝統的音楽の種類とそれぞれの特徴
- 3 ア 曲や演奏に対する評価とその根拠
イ 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり
- 4 ア 声や楽器の音色の特徴と表現上の効果
イ 楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲家及び演奏者による表現の特徴
- 5 ア 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり
イ 音楽を形づくっている要素

C 次に示す空欄（ア）、（イ）に当てはまる語句として、適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

第2款 各科目 第1 音楽I

3 内容の取扱い

(5) 内容の「A表現」の指導に当たっては、（ ア ）を考慮し、
（ イ ）を含めるものとする。

- 1 ア 学習活動を行う場合に生じる困難さ等
イ 根拠をもって批評する活動
- 2 ア 学校や地域の実態
イ 視唱と視奏及び読譜と記譜の指導
- 3 ア 学習活動を行う場合に生じる困難さ等
イ 全ての生徒の心理的な面についての配慮
- 4 ア 生徒の特性等
イ 視唱と視奏及び読譜と記譜の指導
- 5 ア 生徒の特性等
イ 根拠をもって批評する活動

D 次に示す空欄に当てはまる語句として、適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

第2款 各科目 第1 音楽I

3 内容の取扱い

(9) 内容の「A表現」及び「B鑑賞」の教材については、学校や地域の実態等を考慮し、
（ ）。また、「B鑑賞」の教材については、アジア地域の諸民族の音楽
を含めて扱うようにする。

- 1 生徒が音や音楽と生活や社会との関わりを実感できるよう指導を工夫する
- 2 必要に応じて、音楽に関する知的財産権について触れるようにする
- 3 我が国や郷土の伝統音楽を含む我が国及び諸外国の様々な音楽から幅広く扱うようにする
- 4 言語活動を適切に位置付けられるよう指導を工夫する
- 5 我が国の伝統的な歌唱及び和楽器を含めて扱うようにする

- (2) 「高等学校学習指導要領（平成30年3月告示）第2章 第7節 芸術 第3款 各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い」について、次に示す空欄（ア）、（イ）に当てはまる語句として、適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

第3款 各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い

2 内容の取扱いに当たっては、次の事項に配慮するものとする。

(1) 内容の「A表現」及び「B鑑賞」の指導に当たっては、（ ア ）こと。

また、コンピュータや情報通信ネットワークを積極的に活用して、表現及び鑑賞の学習の充実を図り、生徒が主体的に学習に取り組むことができるように工夫すること。

(2) 各科目の特質を踏まえ、学校や地域の実態に応じて、（ イ ）こと。

- 1 ア 学校の実態に応じて学校図書館を活用する
イ 文化施設、社会教育施設、地域の文化財等の活用を図ったり、地域の人材の協力を求めたりする
- 2 ア 言葉と音楽との関係、姿勢や身体の使い方についても配慮するとともに、適宜、口唱歌を用いる
イ 文化施設、社会教育施設、地域の文化財、地域の人材等を活用する
- 3 ア 理論に偏らないようにするとともに、必要に応じて作品を記録する方法を工夫させる
イ 生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにする
- 4 ア 必要に応じて学校図書館を活用する
イ 音楽文化の継承、発展、創造を支えていることへの理解につながるよう指導を工夫する
- 5 ア 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考える
イ 各教科における見方・考え方を働かせ、各科目の特質に応じた学習の充実を図る

